

学 校 だ よ り
は す ん ま

ちゅう

かがみ

蓮沼中鏡

平成30年度 第11号
平成30年10月26日発行
大田区立蓮沼中学校
校長 大原章博

「合唱コンクール」を前にして

心が同じ方向を向かわずして何が合唱なのか

合唱コンクールが終わり、賞が発表されると講評があります。ある中学校での講評で、先生が次のような話をしたそうです。ネットを見ていて発見したので紹介します。

最後に合唱練習がクラスで始まると、毎日がドラマです。クラスではいろいろなことがあり、日々誰かが泣いていました。

そして、初めて全員がとうとう声を出した時のみんなの嬉しそうな顔！ 全員で声を出すのは、こんなに嬉しいことなんだ。誰か一人でも違う方向を見ているのをそのままにしていはいけないんだ。かける言葉は見つからないって言ってたけれど、それでもかけ続けなくてはいけない。

人を動かすのは人なのです。

人の声が人を動かすのです。

これから、あなたたちはいろんなことに挑戦していかなければならない。これから、一人で頑張らなくてはいけないことがたくさんある。みんなで必死になって、がむしやらに前だけを見て頑張った経験は、これから一人で頑張らなくてはいけないときに、必ず支えになる。途中であきらめてはいけないんだ。誰かが支えてくれているんだ。

そういう気持ちをもって、これから、たくさんのことに、ぜひ挑戦してみてください。今日の合唱は、今までの中で一番いい合唱でした。

何のために合唱を行うのか

「何のために歌うのか」と生徒に問いかけると、多くの生徒は「金賞をとるため」と答えると思います。これは、多くの生徒の目標であり、担任の目標でもあります。勝負にこだわるのは仕方がないことかもしれませんが、金賞をとることは目標ではあるが、目的ではないのです。

最も大切なことは、いつでもクラスが「協力できる集団」であることです。合唱の時だけ協力できても普段の掃除や給食準備で協力できなければ意味がないのです。合唱の時だけ質の高いものを求めて、他の授業をいい加減にしては意味がないのです。クラス合唱では声を出して、式の校歌で声を出さないのでは意味がないのです。

普段の掃除や、給食準備、班活動、日直、授業の中、学校生活のあらゆる場面で協力できていないと、良い合唱にはならないのではないのでしょうか。

合唱で協力する、良い合唱を求める、金賞をとるということは、普段の学校生活の延長線なのです。合唱の時だけ「協力」「団結」「助け合い」「絆」などと言っても、その価値はどうなのでしょう。学校行事や学年行事はすべて、日ごろの活動や生活の延長線上でしかないと思います。

合唱コンクールの本当の意味は、そこにあるのではないかと考えます。自分のために頑張るのは当然のこととして、仲間のために何かできる自分になることも頑張らなくてはなりません。合唱コンクールで金賞をめざして取り組むことの意味を考えてみてください。

10月に行われた行事

◇ 大田区特別支援学級連合運動会〔10月4日〕



今年度も特別支援学級の連合運動会が、「ふれあいはずぬま」で行われました。本校もI組の生徒が各競技に真剣に取り組み、ゴール目指して全力で走りました。天候がすぐれず、午後の部で競技が中止となっていました。競技に出場していないときは、声をからして仲間（小学生も）を自作の応援うちわを使って応援していました。

どの生徒も満足した顔を見せてくれ、天候にも負けないI組の力を見せてもらいました。

◇ 第2回進路説明会〔10月5日〕

本年度2回目の進路説明会を行いました。卒業後の進路について具体的な内容です。都立高校入学選抜のしくみについての説明が中心でしたが、私立高校入試などの制度・学校推薦についてなどの説明がありました。3年生と保護者同席で説明を行いました。当日は、1、2年生の保護者の出席もあり、進路に対する関心の高さをうかがうことができました。ありがとうございました。

進路の選択で大切なことは、生徒自身がするという事です。生徒は、自分に合った進路先を考え、保護者の方は、お子様に適した道は何かを考え、進路先のアドバイスをお願いします。一方的な押し付けや、決めつけで子どもの進路先を決定しないよう注意しながら、子どもが安易な方向に流れないようにすることが大切です。十分に話し合い、慎重に進路を選択してほしいと思っています。一人一人の進路について学校体制で考えていきます。困ったことや悩むことなど、何でも遠慮なく担任を窓口として、ご相談いただきたいと思います。

◇ 壁塗りボランティア〔10月5日、6日〕

「スクールサポート蓮沼」の協力のもと、ボランティア活動の一つとして実施されました。

年々、お父様の参加が増えて本校の美化活動として定着してきています。今年度は生徒の参加希望が多く、前日準備の担当と壁塗り担当とに分けて活動しなくてはならないというほどの盛況ぶりでした。本校の生徒のボランティア精神が浸透してきているからこそだと思います。

前日は、夕方遅くまで養生テープを貼り、ビニールで塗らない部分を覆う作業に励んでいました。そして、ペンキは、1階と2階の廊下壁面と門柱を塗りました。実は塗っている時よりも、後片付けのほうが大変ですが、そんな作業も、てきぱきとこなしていました。

片付けを終えて、PTA役員方の手作りカレーライス（これも恒例となりました）を昼食としていただき、参加者はお腹もいっぱい、やり遂げた充実感もいっぱい下校しました。

ご協力いただいた保護者、地域支援本部の皆様には感謝申し上げます。



◇ 卒業生のお話を聞く会〔10月10日〕



3年生を対象として「卒業生のお話を聞く会」を実施しました。本校を巣立ち、充実した高校生活を送る先輩から、受験生だった自分を振り返り後輩へのアドバイスをしてもらうことをねらいとして行いました。

これから進路先を決定する3年生にとっては大いに参考になったことと思います。